

公開討論で想定される主要論点（例示）

本日のテーマである「公務員制度改革」は、極めて重大な改革であるにもかかわらず、改革案の断片のみが問題とされることが多く、一般の有権者にとっては、改革の全体像が見通しにくいものとなっております。そうした現状をふまえ、本討論会が、改めてこの改革の目的や見通しについて確認する機会になればと考えております。

1. 幹部職・管理職制度の設計と能力・実績主義あるいは人事の一元化

今回の改革の根幹をなす、新たな省庁幹部人事制度について、基本法の解釈とともに、今後整備されるべき制度的工夫を議論し、具体的なイメージを明らかにする。

2. 内閣人事局構想に関して

内閣人事庁から内閣人事局へと修正された経緯などもふまえ、現在の内閣人事・行政管理局構想への評価と、公務員制度改革に必要な組織改革に関しての議論。

3. 国家戦略スタッフ・政務スタッフの具体像

新たに導入される制度についての具体的なイメージ。

4. 政治の側の変化の必要性

官僚の役割の変更の裏側として、政治主導を具体化する、大臣や一般議員は何をなすべきかという、政治家の行動原理転換の見通し。

5. 行政の中立性確保の課題

政治主導の負の側面としての行政への不当な政治的介入の防止と、求められる具体的あるいは制度的な措置。

6. 公務員に対する労働基本権付与の課題

付与の可否あるいは関連の組織問題

7. 天下り問題

現時点での天下り問題対処策への評価と、今後の総合的な措置についての意見。